

『免疫チェックポイント阻害薬 実践ガイドブック』
正誤表

『免疫チェックポイント阻害薬 実践ガイドブック』（2020年10月20日 第1版第1刷，2021年2月20日 第2刷）におきまして誤りがございました。ここに深くお詫びいたし，訂正申し上げます。

(2021年2月10日 メジカルビュー社編集部)

頁	誤	正
28	再発した場合、 抗EGFR抗体 の投与は致死的なILDの発現リスクが高くなるため、後治療の選択に注意は必要だが、デュルバルマブの適応はある。	再発した場合、 EGFR阻害薬 の投与は致死的なILDの発現リスクが高くなるため、後治療の選択に注意は必要だが、デュルバルマブの適応はある。